

環境で地方を元気にする  
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

## キックオフミーティング発表資料

活動団体名

みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会

活動地域

和歌山県 田辺市、みなべ町

活動におけるテーマ

## 未利用資源を活用した低炭素 社会の実現と地域の活性化



### 地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿

未活用となっている地域資源を最適な規模で循環させる  
循環型社会の創出

世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」の保全・活用の取組を核  
に、地域循環共生圏の創出による持続可能な地域を目指します。

持続的な農林水産業の保全と継承  
地域内でのバイオマス利活用の促進

温室効果ガスの排出抑制  
資源採取に伴う生態系の損失防止

低炭素社会の実現

こうした活動を通じて地域の活性化につなげる



## 地域の現状と課題

### 地域の現状



#### ◎活動地域の概要

- ・ 県の南西海岸に位置
- ・ 人口76,000人(みなべ町及び田辺市)

#### ◎活動地域の特性

- ・ 梅生産量日本一
- ・ 製炭業が盛ん

#### ◎活動地域にある地域資源

- ・ 世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」
- ・ 梅(南高梅)
- ・ 紀州備長炭
- ・ 梅加工の際に出る調味残液
- ・ 梅の剪定枝
- ・ 間伐材等の森林資源
- ・ 近隣観光地への来訪者



### 課題

#### ◎現状から考える地域の課題

- ・ 農家数の減少と後継者不足
- ・ 梅の消費量の減少
- ・ 梅干しの製造過程で排出される調味残液の増加
- ・ 失われつつある薪炭林の管理技術
- ・ 放置された人工林の増加

#### ◎今後取り組むべき課題

- ・ 未利用資源の循環利用
- ・ 域外に流出しているエネルギー代金

#### ◎課題の中で地域循環共生圏を活用し、解決しようとする課題

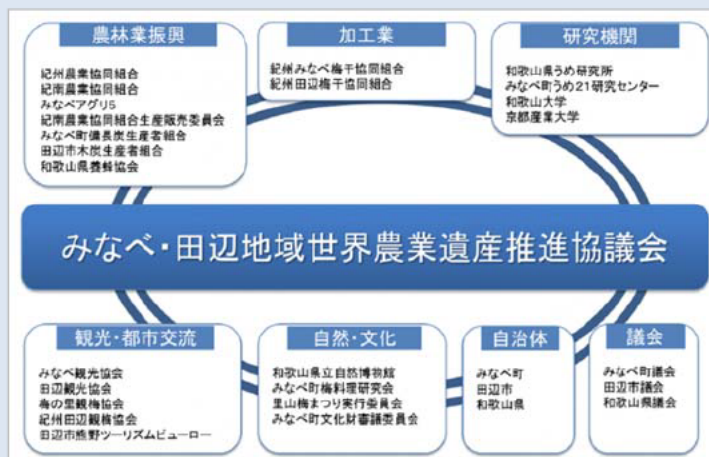
- ・ 梅調味残液の処分コスト
- ・ 温室効果ガスの排出
- ・ 関係人口(地域を支える人)

## 地域循環共生圏を活用して目指す地域の実現のために

「みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会」(2014年設立)が事業を推進

世界農業遺産の保全と継承に5年間取り組んできた**実績が有り、既に強固なチームワークが構築**

ワークショップやシンポジウムを開催し、**既存の枠組みを拡げていく**



## 今後の事業取り組み予定

- i) 梅産業の振興
- ii) 製炭業の振興と森林管理
- iii) 未活用資源の循環利用



- ・梅加工の際に発生する調味残液
- ・梅の剪定枝、林地残材や間伐材

未利用資源  
の活用

バイオガス(マス)発電  
(低炭素社会の実現)

### iv) 観光振興

- ・「梅システム」の魅力
- ・世界遺産(紀伊山地の霊場と参詣道)などを訪れる観光客

地域資源  
の活用

都市農村交流  
(地域を支える関係人口の増加)

◆計画を実現していくためには、支援チームの派遣が必要！

## スケジュール (令和元年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定				◇請負業者決定 ◇事務局設置 ◇キックオフミーティング				現地意見交換会		◇中間報告書提出期限 活動団体成果報告書提出◇		◇成果発表会 ◇シンポジウム
ビジョンの 策定										◆素案策定		◆策定
ステークホルダー の巻き込み							◆1stワークショップ		◆11/29地域循環共生圏シンポジウム	◆報告書提出(中間)	◆2ndワークショップ	◆成果発表 報告書提出(最終)◆

